

令和元年6月12日 校長 高倉 満

「心配な6月」にならないために「さ・し・す・せ・そ」

□6月は体育祭が終わり生徒も一息。先生方の指導で全体的に切り替えもでき、落ち着いて授業にも臨めているように感じます。しかし、これから蒸し暑くなり、雨が降り、うっとうしい季節に向かいます。中体連大会に向けて練習にも熱が入り、体力的にも疲れが溜まる時期です。期末考査も控え、イライラしたりする生徒も出てくると思います。ある記事によると6月は交通事故や生徒の欠席、いじめ、大きな学校事故が起こる時期だそうです。浮羽中でも昨年、6月～7月にかけて生徒間のトラブルや大きな事案もありました。私たちは組織的な対応をしていく必要があります。学年、学校全体で力を合わせていきましょう。

さ：最悪を想定して

大丈夫だろう。まあ、たいしたことはない。と思わないで、最悪な事態も想定して行動しましょう。そのためにも、まずは周りの人に相談をしていきましょう。

し：慎重かつ

生徒の中に入り、情報を集めたり、対応は教職員の役割分担をしましょう。一人で判断して、抱え込まない。

す：素早く

初期対応が大切です。特に家庭訪問は有効です。行けば、保護者は「わざわざありがとうございます」忙しい時は電話を。

せ：誠意をもって

生徒や保護者の立場にたって。もし、その生徒が自分のこどもだったら・・・と考えて。どんな対応をしたら安心してもらえるか。

そ：組織的な対応を

学年部を中心とした組織的な対応を。管理職、八杖先生や長先生にも相談して動いていただく。一人で悩むことがないように。

私たちがイライラしてはいけません。チーム浮羽中。笑顔を忘れずに、心に余裕をもって、みんなで対応していきましょう。

□学年目標、学級目標の振り返りを！

学年目標・学級目標「3月の生徒の姿 長期」
自治活動のゴールイメージ

【一学期の具体的目標】「中期」
全学年共通目標
学年や学級独自の目標

【6月の具体的目標】「短期」具体的に
いつ、どのようにやる、生徒はどうなる



1. 現状分析
生徒の姿はどうか
2. 問題把握
それは問題なことなのか
3. ゴールイメージ
2の問題は○月までにこうなるべき
4. 課題把握
「ゴール」－「現状」＝課題
2の問題となっている要因は何か
5. 具体的な方法、生徒の姿の確認
4の課題を解決するために
●方法：いつ、だれが、どのようにするか
●生徒の姿：どのようになるか
☆全員がやることが理解できる
☆できた、できていないが検証できる。
6. 4のゴール、現状は必ず変わってくる。
だから、課題も変わる。
マンネリ化にならないように、一ヶ月ぐらいで見直す

○学校目標は「自ら気づき、判断し、行動できる生徒の育成」です。その目標に最終的には繋がっています。自分でする（自ら考え、行動する）みんなとする。（生徒会活動・係活動）、そしてほめあう（友だちの頑張り、価値の発見）活動を通して生徒と一緒に取り組んでいきましょう。少しずつ目標を焦点化していく。小さな成功体験をクラスや学校の中で増やしていきましょう。